

## 日本語教室で書道体験教室が開かれました

6月3日(月)5日(水)6日(木)、日本語教室の書道体験教室が催されました。講師は市内で書道教室をなさっている渡部幸子さん(月、水)と、書道2段の敦賀萌さん(木)でした。延べで、学習者26名と日本語ボランティア4名が体験、見守りとお手伝いに31名の日本語ボランティアが参加しました。

1時間の体験の終わりに、学習者たちは皆、桜・幸福・愛・令和など、思い思いの字を立派に清書しました。その様子を、学習者の大庭パトリシアさんが担当ボランティアの田中律子さんの協力のもと、報告してくれました。

## 書道教室に参加して

### 大庭パトリシア智恵美(ブラジル、水曜教室)

私は昨年5月31日にブラジルから日本に来ました。まだ1年経ったばかりですが、NIAで日本語の勉強を今年の4月から始めました。

私は火曜日に漢字を学んでいます。そして水曜日には日本語の勉強をしています。

6月6日に、外国人のための書道教室がありました。私の先生は田中先生です。先生が私に、書道をやってみませんかと聞いてくれましたが、私は今まで書道をやったことがありませんでした。先生は私に、珈琲の字を書いたらどうですかと話してくれました。私は珈琲が大好きです。それだけではありません

が、ブラジルでは珈琲が有名なので、その字を書くことにして、書道教室に参加することにしました。

書道教室では、書道の先生が私たち外国人の生徒たちに一生懸命書道を教えてくれました。先生に珈琲という字のお手本を書いてもらい、それを見ながら筆を先生と一緒に持って練習しました。日本語教室の先生たちも外国人の生徒の皆さんにサポートしていました。

私は書道が初めてでしたが、皆さん優しく安心してました。書道はとても楽しかったです。NIAの皆さんが外国人のためにいろいろなことをしてくれて感謝しています。



お手本を見て集中します



先生に筆を持ってもらって



自書を持つ大庭さん(中央)、講師の渡部さん(左)、担当ボランティアの田中さん(右)